

## いっしょにやるべや！ －美瑛町農協青年部との交流－

枝幸漁業協同組合青年部  
部長 八文字 満彦

### 1 地域の概要

私たちの住む枝幸町は、北海道宗谷管内の南側、北緯45°付近に位置しており、冬季に流氷が接岸する恵み豊かなオホーツク海に約58kmの海岸線を有している（図1）。人口は約7,800人、基幹産業は漁業と酪農の一次産業が中心で、日本一毛ガニが獲れる町として有名である。

### 2 漁業の概要

枝幸漁業協同組合は、正組合員275人、准組合員1法人で構成されており、ホタテガイ桁網・毛ガニ籠・鮭鱒定置網を中心に、タコ・ナマコ・カレイ刺し網・沖合底引き網などの漁業が営まれている。平成15年の漁業生産高は、3万9千278トン、46億4千6百万円（税込み）の取り扱いとなっている（図2）。

### 3 研究グループの組織及び運営

私たちの青年部は、各地区毎に活動していた9地区の青年部を統合し、昭和39年に発足した。現在の部員数は65名で、地元や近隣町村でのホタテガイの販促活動（写真1・2）、「枝幸かにまつり」、「よくばりフェスタ」（写真3）等のイベントへの参加、研修会への参加、先進地研修視察、漁港清掃など様々な活動を行っている。運営費は部費、組合からの助成金、販促活動の利益等で賄われている。

### 4 研究・実践活動課題選定の動機

私たち青年部は、これまで道内では札幌や旭川、道外では東京・大阪・福岡などの都市において、北海道や道漁連などが主体となって開催した様々なイベントでの販促活動を行ってきた。販売した商品は瞬く間に完売し、枝幸産の水産物に対する自信と売ることへの面白さを感じた。これらの活動をとおり、オホーツクの枝幸町という名前をもっとPRして、地元水産物の販路を拡げたいという気持ちが益々強くなり、今後の展開について部員と漁協担当者で何度も協議を行った。その中で、今までの水産物販促活動は、いずれも地元や都市ばかりで行われており、その地区以外の人には「どんな魚を食べているんだろう？」、「枝幸の魚は知っているのだろうか？」という疑問が湧き、都市以外でPR販売に取り組みたいという気持ちになった。また、その企画や立案についても水産関係者のみで行われていたため、違う立場の感覚を取り入れることによって面白い発見があるのではないかと考え、これまで何処でも実施されていない農村とのタイアップ

による新たな展開を模索し始めた。しかし、何処で何をどうしたらよいのか、全く宛もなく途方に暮れていた。そんな中、当漁協専務と山間部にある美瑛町の町会議員が知り合いであることがわかり、「場所はここだと！」と直感し、早速専務から町会議員を通じて美瑛町農協の青年部に私たちの意向を伝えた。偶然に彼らも販路拡大に対する新たな展開を模索していたことから、お互いの考えが一つになり平成12年から海と山を結んだ交流が始まった。

## 5 実践活動状況及び成果

平成12年、私たちと漁協担当職員で美瑛町に数回足を運び、まず何をどう行うかについて農協青年部と協議を重ねた。今までは何事もただ参加するだけの比較的気軽な立場であったが、今回は自分たちが企画・立案を行わなければならない、経験の少ない私たちにとってはとても大変なことであった。

その中で、美瑛町には8月の「どかんと農業祭り」、枝幸町には7月の「枝幸かにまつり」という町が開催する大きなイベントがあることを知り、まずはお互いにこの機会を利用した特産品の販売PRを行うこととした。その他、漁協及び農協が保有する施設の視察や農協青年部員の乗船体験など、お互いの仕事への理解を深めることも取り上げることにした。

### 1) イベントでの販促活動

平成12年からお互いの町が開催するイベントでの特産品の販売活動を開始した。

枝幸町の「枝幸かにまつり」(写真4)では、同じテントで私たちは毛ガニ・ホタテを中心とした商品、農協青年部は美瑛町特産米の「あさひ娘」を中心に旬の野菜などの販売を行っている。初年度には、馴染みの薄い農協青年部の出店を広く知ってもらうため、主催者である枝幸町と観光協会に働きかけ、特別に舞台上で彼らの紹介や特産品宣伝の場が設けられるようになった。この舞台上でのPRはその後毎年実施されている。交流を始めた頃は、「なんで農家なんかと一緒にやるの?」と思っている部員や遊び感覚の部員が多くみられ、参加者も少なく、参加している部員も農協青年部に一線を引いている感じがあった。しかし、交流が深まるにつれ次第にお互いのわだかまりがなくなり、この祭りでは、私たちが農協青年部の<sup>のぼり</sup>幟を持ち、おにぎりの無料配布を行うなどいつの間にか協力するようになっていた。

美瑛町での「どかんと農業祭り」(写真5)では、私たちに専用のテントが設けられ、マスのちゃんちゃん焼きの無料配布や、毛ガニ・ホタテ・サケ・カラフトマス等の商品販売を行っている。この祭りでは、枝幸の毛ガニを使用した「毛ガニ早食い競争」をイベントに取り入れたり、私たちに舞台上での宣伝の場を設けてくれるなど多大な協力が得られており、その甲斐あって、毎年販売する商品は美瑛町の人達に徐々に浸透してきている。また、平成16年には、美瑛町で新たに開催された10月の「丘のまち収穫祭」にも招待され、天候にも恵まれたこともあり、そのイベントでの販売は大幅に増加した(表1、図3)。

### 2) 施設の視察

お互いのイベントに日程を合わせて、平成14年には私たちが農協のトマトとジャガイモ選別工場(写真6)、平成15年には彼らが枝幸漁協のホタテ加工施設の視察を行った。

お互いの製品の細かい規格や施設での厳しい等級選別を垣間見、どちらの産物も収穫や漁獲してただ出荷しているのではなく、多くの手間隙や経費が掛かっていることを知った。この他、毎年枝幸町においてホタテ操業船への乗船体験（写真7）も行っている。これらを通じお互いの仕事を理解し合えたことは、共に活動を行う上でとても有意義であった。

この交流によって、私たちが目的としていた地元や都市以外での販促活動の機会を得ることができ、微力ではあるが美瑛町の人達に枝幸町水産物のPRができた。また、彼らから水産物消費者としての意見を聞いたことで、自分たちの販促活動や漁協の商品作成に非常に役立っている。

その他、この交流がきっかけとなり、母体である農協と漁協の特産品販売に対する協力が始まった。枝幸漁協では、美瑛町特産米「あさひ娘」や旬の野菜の窓口販売を行っており、その中で「あさひ娘」は平成13年以降毎年450袋以上も販売される程の人気商品となっている（表2、図4）。また、平成17年には直売所の建設計画があり、その中に美瑛町農協のコーナー設置を検討している。それに対して美瑛町農協では、漁協の年末商品の斡旋販売を行っており、漁協に対する注文も徐々にではあるが増加傾向にある（表3、図5）。

これらのことは、この交流による大きな成果であると思われる。

## 6 波及効果

- 1) 青年部員個々の消費拡大を行う意識が更に高揚し、全体での活動以外に、自主的に他町村での販促活動やホタテの宅配等を実施するグループも出てきた。
- 2) 近隣の漁協青年部も他町村の農協青年部との交流を実施するようになった。

## 7 今後の課題や計画と問題点

- 1) 私たちと美瑛町農協青年部がスクラムを組み、都市のデパートや大型スーパーで特産品の共同販売を実施する計画がある。しかし、農協組織上の問題があり現在のところ実施には至っていない。
- 2) 美瑛町農協では、現在、漁協年末商品の斡旋販売だけとなっているため、周年販売が可能になるための協力をしていきたい。
- 3) 美瑛町と枝幸町の特産品を利用した共同商品の開発を考えていきたい。
- 4) 今後も生産者自らが実感できるこのような地道な活動を継続し、枝幸町水産物の消費拡大に努めていきたい。

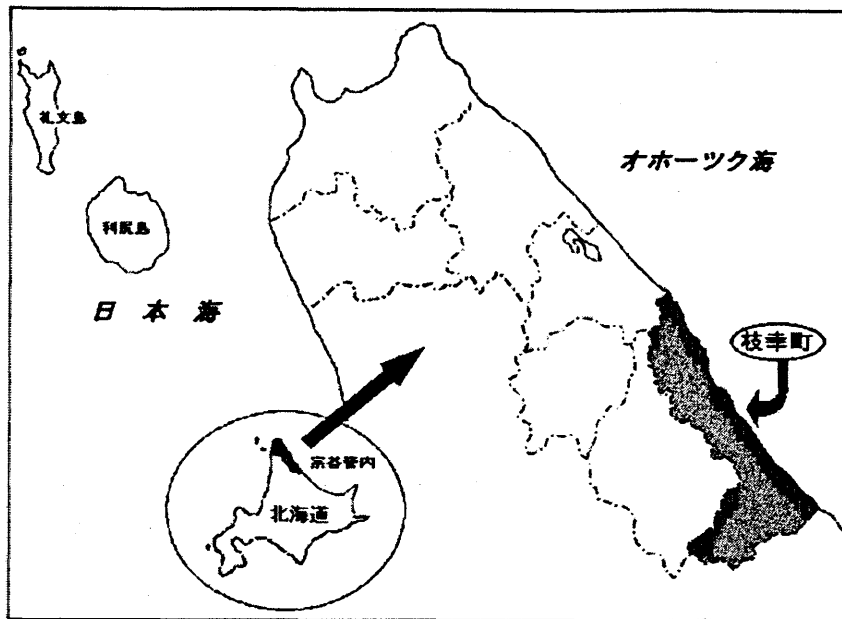


図1 枝幸町位置図

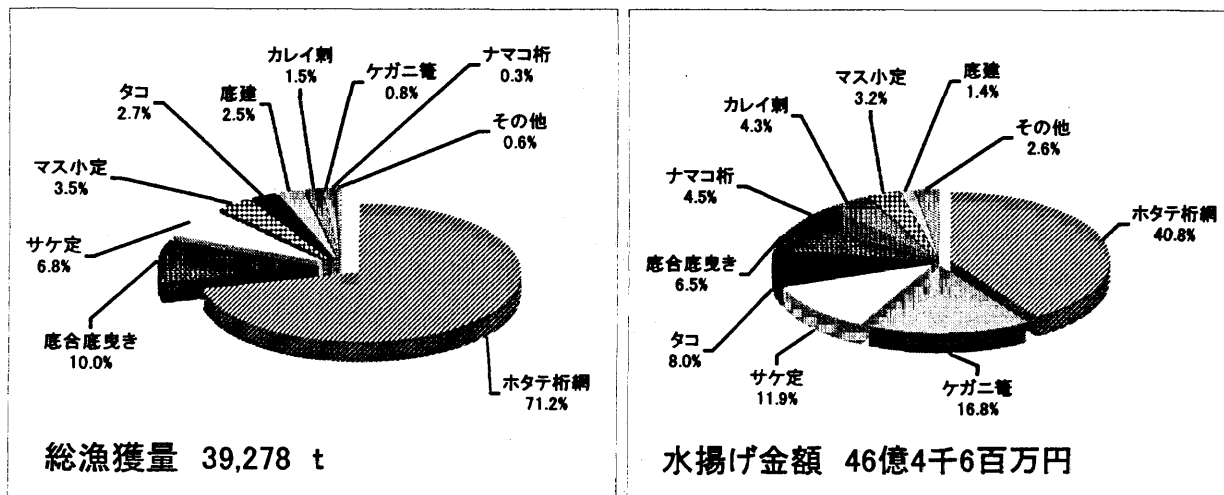


図2 平成15年度枝幸漁協漁業生産状況



写真1：歌登町でのホタテ即売会



写真2：地元でのホタテ即売会



写真3：枝幸町「よくばりフェスタ」

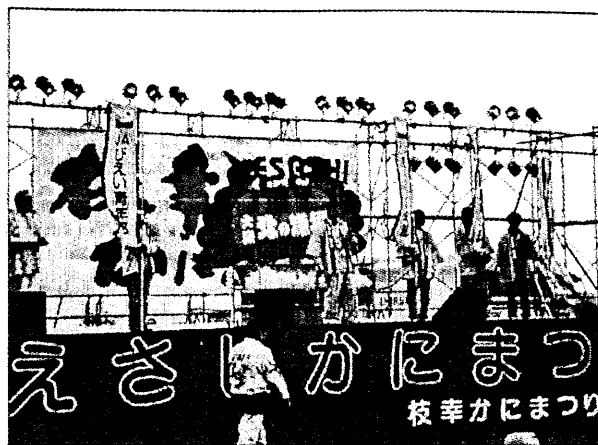


写真4：「枝幸かにまつり」  
美瑛町農協青年部のPR



写真5：美瑛町「どかんと農業祭り」

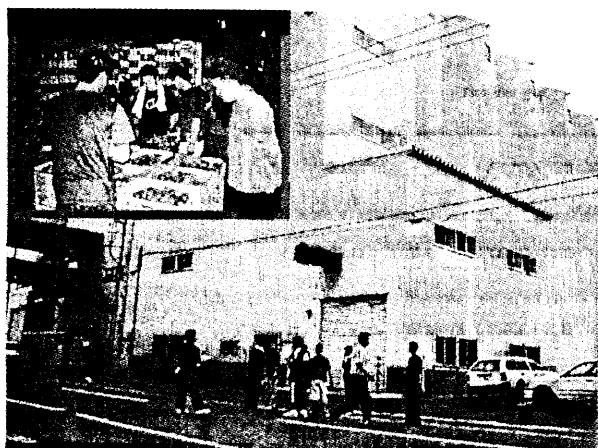


写真6：美瑛町農協施設視察

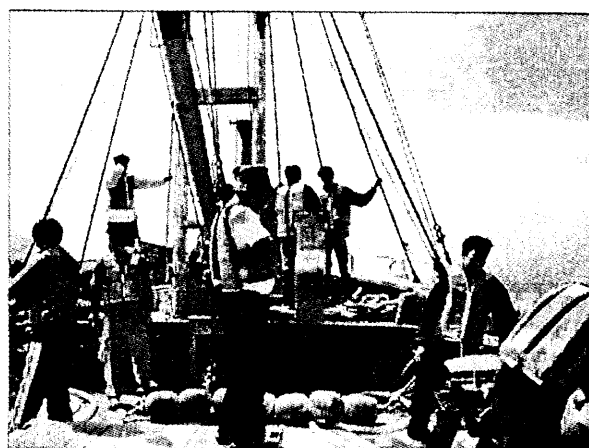


写真7：農協青年部乗船体験

表1 枝幸漁協青年部の美瑛町における販売実績（単位：円）

催事名 販売品目	美瑛町どかんと農業まつり					丘のまち収穫祭
	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H16年度
毛がに	90,300	91,000	120,000	60,000	84,000	132,000
たこ頭	41,000	72,000	80,000			
汐ウニ	55,000	55,000	33,000	39,000	42,900	45,500
汐マス		9,000			31,900	
鮮さけ						76,600
新巻鮭			25,000			77,000
メジカ山漬			30,000			
鮭山漬				15,000		
ほたて玉冷						41,000
干貝柱	20,700	27,000	50,000	19,000	35,000	52,400
えさし丸(干貝柱)				60,550	58,000	15,750
煮ごり風ほたて				750		
すも〜くほたて				30,000	45,000	20,000
ほたてづくし				10,500	3,500	2,500
活ほたて貝				208,200	150,000	366,000
干貝柱つかみ取り	62,000	63,500	65,000			
合計	269,000	317,500	403,000	443,000	450,300	828,750

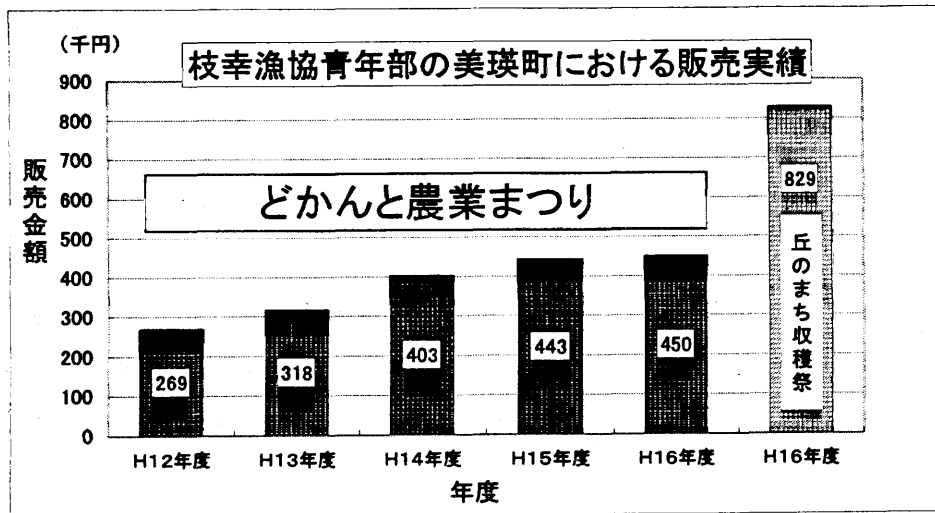


図3 美瑛町における販売実績

表2 枝幸漁協における「あさひ娘」販売実績

年度	販売数(10kg袋)	販売金額(円)	備考
H12	61	237,900	販売価格3,900円
H13	498	1,942,200	販売価格3,900円
H14	659	2,570,100	販売価格3,900円
H15	450	1,792,500	販売価格9月迄3,900円 10月~4,200円
H16	451	1,894,200	販売価格9月迄4,200円 9月末現在販売高

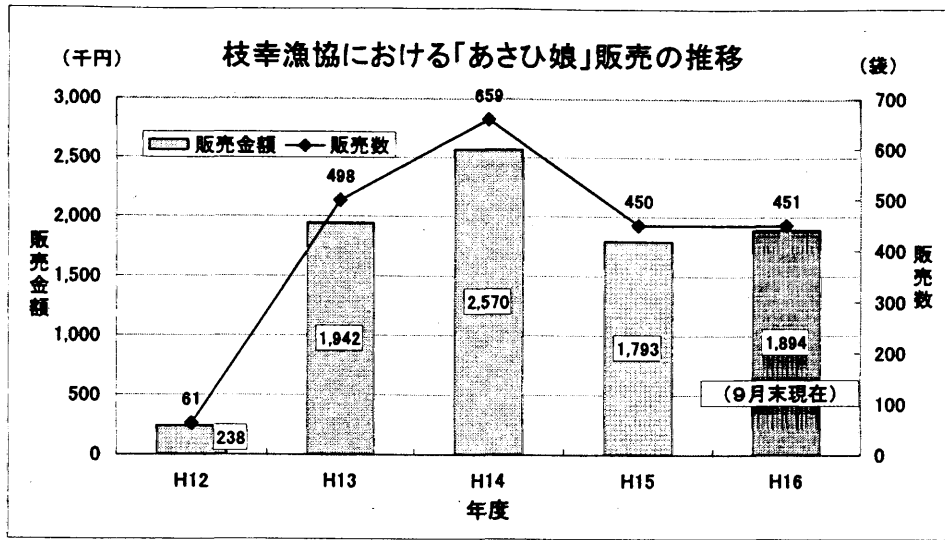


図4 枝幸漁協における「あさひ娘」販売実績

表3 美瑛町農協における枝幸漁協年末商品販売実績 (単位: 円)

販売品目	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度
毛がに	74,200	102,000	83,000	102,000
新巻メジカ	32,000	36,000	46,000	56,000
新巻鮭	32,000	42,000	48,000	62,000
ホタテ玉冷	18,300	21,000	36,000	48,000
汐ウニ	25,530	21,000	28,000	36,000
合計	182,030	222,000	241,000	304,000

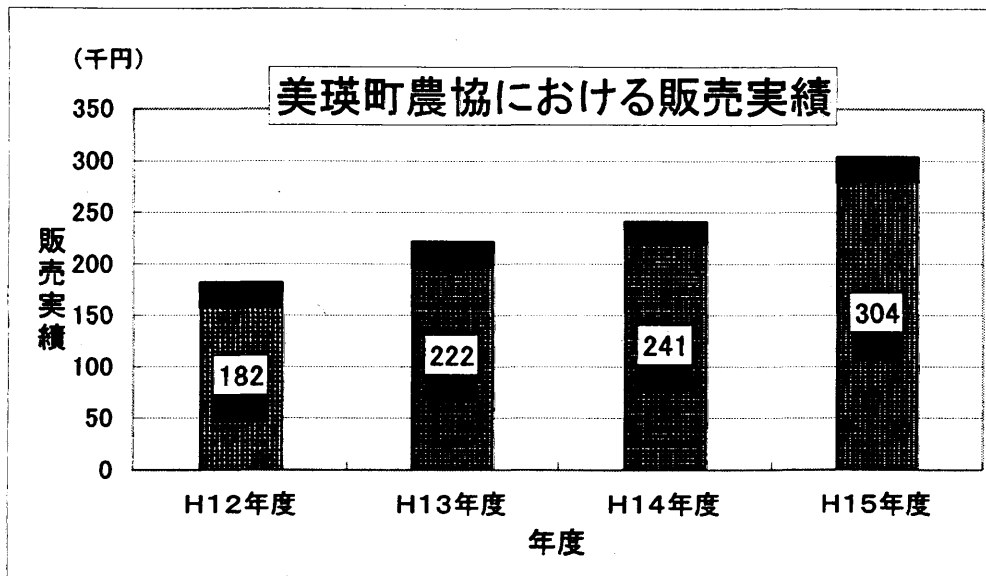


図5 美瑛町農協における枝幸漁協販売実績